

1. 単元のねらい


- 札幌市民にとって身近な雪について関心をもち、体験の中から生まれる問題意識を課題に設定する。その解決のために、自ら情報を集め、整理・分析することができる。
- 自らが設定した雪に関する課題について、自分なりの学習の成果をまとめ、相手を意識した方法で表現することができる。

2. 単元の評価規準

- ・「雪」について関心をもち、自分にとって意味や価値のある課題を設定することができる。(課題設定)
- ・「雪」に関する課題を解決するために、体験活動や調べ活動を通して、必要な情報を取り出し収集することができる。(情報の収集)
- ・得られた幅広い情報を整理・分析したり、判断したりしながら、自分なりの考えをもつことができる。(整理・分析)
- ・自分の考えをまとめ、相手を意識しながら表現方法を工夫し伝えることができる。(まとめ・表現)

3. 単元計画 (総合学習22時間)

| 月 | 小単元名・ねらい | 学 習 活 動 | 評価の観点・留意点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | テーマを決めよう (2) ・雪について関心をもち、自分の経験談などを話すことができる。 ・雪に関わることの中から、興味関心を抱き、学習課題を設定することができる。 | ○札幌を代表するものといえば…を考え、多くのものの中から、雪を話題にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">雪にかかわるものって、どんなものがあるかな？</div> ○雪について、連想するものを話し合い“ウェブマップ”を作る。 ○雪にかかわる単語を分類して、大きなカテゴリを作る。 ○カテゴリ…「学習の範囲」を決めて、どんな学習を進めていきたいか小集団交流をする。 ○よくわからないことや、もっと知りたいことを話題にし、調べてみたいことを相談して決定する。 | ◆ウェブマップは初め、個人で作業をさせ、その後、全体で作成していくとよい。その際、カテゴリ化して整理することが必要。 ◆協同学習を進めていくメンバーで話しあうことが好ましい。 ◆テキストの穴埋めに言葉を入れながらテーマを決定していくとよい。 ○適切なテーマを設けることができたか。 |
| | 調べてみよう (6) ・テーマに基づき、計画的に調べることができる。 | ○テーマに基づき、調査する内容の計画を立てる。 ・どのような人々がかかわっているのか？ ・いつ頃から、始まったものか？ ・年表を作成 ・どこで行われているか？ ・地図の作成 ・何を作っているのか？ ・何を目的としているのか？ ・なぜ、そのようなことをしているのか？ ・どのように、行っているのか？ ○調べ方をグループで確認し計画する。 ・訪問取材・電話取材 ・インターネット・学校図書・地域図書館 ・体験活動 | ◆テキストにある、「5W1H」の意味を伝える。 ・【スキル】 ネット検索の方法、デジタルカメラの使い方、電話対応などを、指導する。 ○的確にテーマに基づき調べることができているか。 |

| | | | |
|---|---|--|---|
| | <p>※体験活動</p> | <p>○体験活動では、雪像作り、雪の結晶観察、アイスキャンドル作り、イグルー作りなどが考えられる。</p> <p>○札幌市の5年生の場合、冬の「滝野宿泊学習」での活動が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩くスキー（さっぽろ健康スポーツ財団インストラクター協力可） ・冬の星座鑑賞会（星空ボランティア講師協力可） ・スノーシュー体験（冬の森探索） ・チューブ滑り、ミニスキー体験 | <p>参考HP 雪たんけん館HP http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/ 雪たんけん館ブログ http://blog.goo.ne.jp/yukipro-blog 滝野すずらん丘陵公園 http://www.takinopark.com/index.html</p> |
| 2 | <p>一番伝えたいことは？（2）</p> <p>・調べたことを、整理・分析し、発表する内容を決めることができる。</p> | <p>○5W1Hをもとに調べてきたことを、グループで整理し、「より詳しくわかったこと」、「驚いたこと」、「共通すること」、「関連づけられること」などに分類し、分析する。</p> <p>○調べて分析したことの中から、自分たちが発表したいこと「プレゼンの柱」を決定する。</p> | <p>◆プレゼンの柱は、テーマから逸脱しないように注意する。</p> <p>○調べたことを整理分析し、的確なプレゼンの柱ができているか。</p> |
| 2 | <p>プレゼンテーションをつくってみよう（6）</p> <p>・調べたことをわかりやすくまとめたプレゼンテーションファイルを作成することができる。</p> | <p>○プレゼンの柱の内容に沿って、プレゼンテーションの型や内容を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っていたことが、より詳しくなり、理解が増した ➡「せつめい型」 ・初めて知ること、驚きが多い ➡「クイズ型」 ・多くのことを調べ、様々な見方ができた ➡「調査報告型」 ・調べたことの中から課題を見つけ、自分たちの考えを発信 ➡「主張・提案型」 <p>○必要な資料を選んで、話の流れをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめにプレゼンの柱（結論）を示すようにする。 ・調査の方法や出典は必ず伝える。 <p>○スライドを作る。</p> <div data-bbox="424 1532 1107 1823" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大雪像は自衛隊が作成</p>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>文章は短く、箇条書きが基本。キャッチコピーなどをつけると効果的。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>写真は、伝えたいことがはっきりわかるものを使う。</p> </div> </div> <p>○スライドにあわせて、発表原稿を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく、相手を意識した文章にする。 | <p>◆発達段階や調べた内容をもとにして無理のない形のプレゼンテーションを作らせたい。</p> <p>◆テキストを参考にしながら、完成のイメージをさせる。</p> <p>◆ソフトによってはアニメーションや音などが容易につけられるが、伝えるべきことを常に考え、効果をつけるように指導する。</p> <p>◆時間は5分以内が適当</p> <p>○伝えたいことが的確に表現されているか。</p> |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 3 | <p>プレゼンテーションをしよう (4)</p> <p>・伝えたいことをわかりやすく、相手を意識して発表することができる。</p> | <p>第△回 雪と暮らすおはなし発表会に参加しよう!</p> <p>○プレゼンテーション本番の前に、グループで練習 (リハーサル) をする。</p> <p>【わかりやすく伝えるための観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示棒を使う ・視線 ・話し方、話すスピード、言葉遣い ・時間 ・発表原稿は見ない <p>○プレゼンテーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く人は何人ぐらいいるか? <p>→ファクトリーでは市民の方々が大勢います。 →観客席は100ほどです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場はどのくらいの広さで、発表場所はどこか? <p>→札幌ファクトリーアトリウムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方の確認 <p>→ノートパソコンを操作します。</p> <p>○聞く側としてのマナーや態度を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの発表の内容や方法と比較して聞く。 ・うなずくなど反応しながら聞く。 ・質問できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆雪と暮らすおはなし発表会については下記参照 ◆テキスト表紙参照 ◆グループ交流などを行い、観点に基づき互いに評価しあうとよい。 ◆実際に発表の際には、コンピュータ機器を扱うことになるので、教師側で入念に確認点検しておく。 <p>○伝えたいことをわかりやすく、堂々と発表することができたか。</p> |
| 3 | <p>プレゼンテーションをふりかえろう (2)</p> <p>・自分たちの発表をふりかえり、次に生かそうとする。</p> | <p>○お互いの発表をふりかえり、次の発表に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめふりかえりリストを準備し、同じ観点で評価し合えるようにする。 ・内容はわかりやすかったか? ・主張は伝わったか? ・構成はどうであったか? …など ・成果と課題をまとめる | <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえる観点は子供たちで考え決めるようにする。 ◎互いのプレゼンテーションを評価し合い、成果と課題をまとめられたかを評価する。 ※プレゼンのスライドはそのまま学校HPで公開することも可能です。 |

(備考)

○プレゼンテーション発表の場として…

| | | |
|---|--|--|
| <p>①雪と暮らすおはなし発表会 (プレゼンテーションコンテスト)</p> <p>主催：札幌市雪対策室 市教委 会場：札幌ファクトリーアトリウム</p> <p>出場条件：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪にかかわる学習の成果を発表 ・1チーム5分以内 ・応募多数の場合は事前審査 <p>大画面で発表できます。買い物客の方も大勢が足を止めて見てくれます。 ※申し込みは雪対策室 HP より可能</p> | <p>②参観日での保護者に向けて</p> <p>参観日を利用して、教室や特別教室を使って、保護者に向けての発表も効果的です。</p> <p>除雪のことや冬の生活、冬の体力作り、冬の料理についてなど、大人が聞いて関心をよせるテーマにすると盛り上がります。</p> | <p>③学年交流や異学年交流</p> <p>学年で取り組み、互いに発表しあう他、異学年交流での発表も効果的です。テレビ放送を使い、給食時間等に全学年に発信したり、6年生が5年生に「冬の滝野」についての発表をしたりすることもできます。</p> |
|---|--|--|